

農林水産政策研究所 研究成果報告会

2021年11月30日

ロシア、ブラジル・アルゼンチン、オーストラリア
ーコロナ禍と農業ー

3. オーストラリア

農林水産政策研究所 国際領域

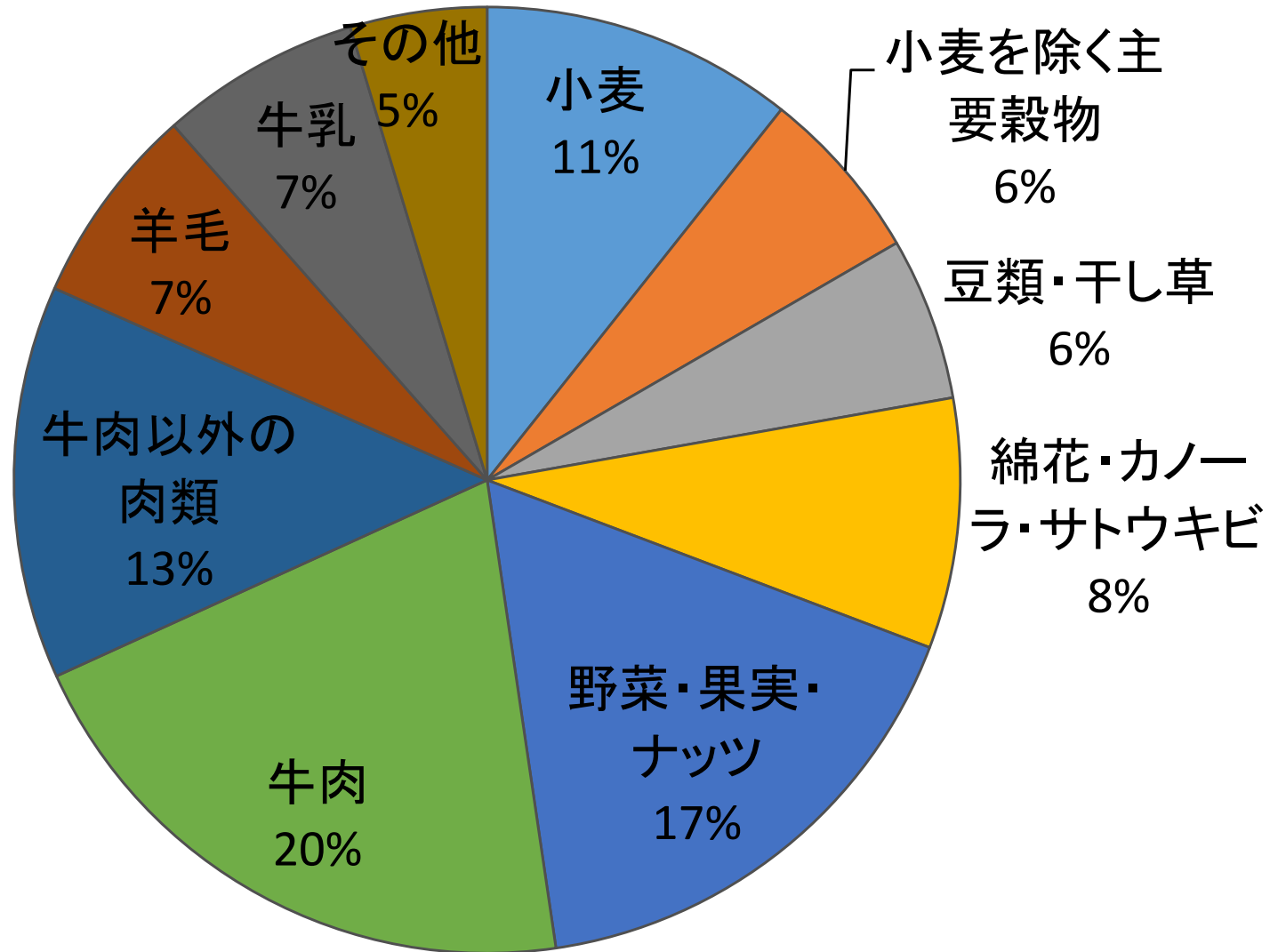
玉井 哲也

目次

- 1 オーストラリアの農業
- 2 コロナ禍の拡大と対応
- 3 農業への影響
- 4 航空便による輸出
- 5 園芸農業の労働力
- 6 これまでの状況と今後の課題

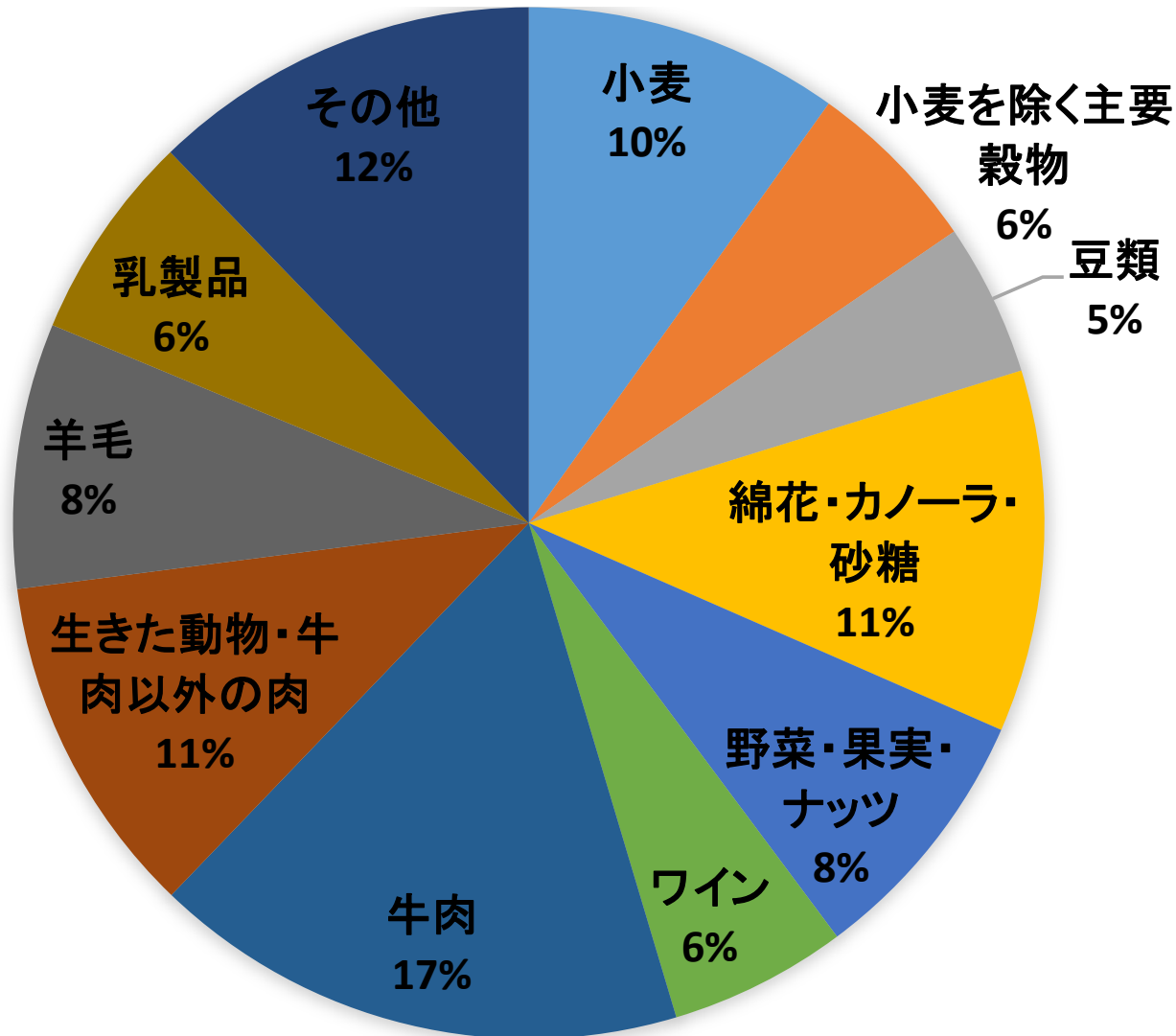
1 オーストラリアの農業

生産額の品目別構成(2016-17年度から2018-19年度の3年間の平均)



1 オーストラリアの農業

輸出額の品目別構成(2016-17年度から2018-19年度の3年間の平均)



出典: ABARES, Agricultural Commodities, December quarter, 2020。

1 オーストラリアの農業

作物別の生産量等(2017-18年度から2019-20年度の平均)

	小麦	大麦	カ ホー ラ	綿花	砂糖	果実・ ナッツ	野菜	牛肉	羊肉	豚肉	鶏肉	羊毛	チー ズ
生産量	17,901	9,025	2,863	559	4,496	—	—	2,321	719	411	1,227	385	383
輸出量	11,804	5,488	1,846	701	3,758	—	—	1,757	549	49	47	277	165
輸入量	—	—	—	—	—	—	—	—	—	351	—	—	101

出典: ABARES, Agricultural Commodity Statistics 2020。

注. 砂糖の金額は、生産についてはサトウキビ、輸出入については粗糖・精糖のもの。果実・ナッツは、ワイン用ぶどうを除く。肉類の数量は枝肉ベース。羊毛の輸出は、半加工品を除く。牛乳、乳製品に関しては、数量はチーズについて、金額は生産が生乳、輸出入が乳製品全体についてのものであることに注意。

1 オーストラリアの農業

作物別の生産額等(2017-18年度から2019-20年度の平均)

百万豪ドル

	小麦	大麦	カ ノ ー ラ	綿花	砂糖	果実・ ナッツ	野菜	牛肉	羊肉	豚肉	鶏肉	羊毛	牛乳
生産額	5,638	2,559	1,634	1,482	1,296	5,080	4,125	11,679	4,290	1,299	2,770	3,979	4,416
輸出額	4,070	1,875	1,219	1,884	1,557	2,172	396	9,566	3,735	130	75	3,196	3,318
輸入額	85	—	34	0	18	1,714	1,022	19	5	737	—	0	1,529

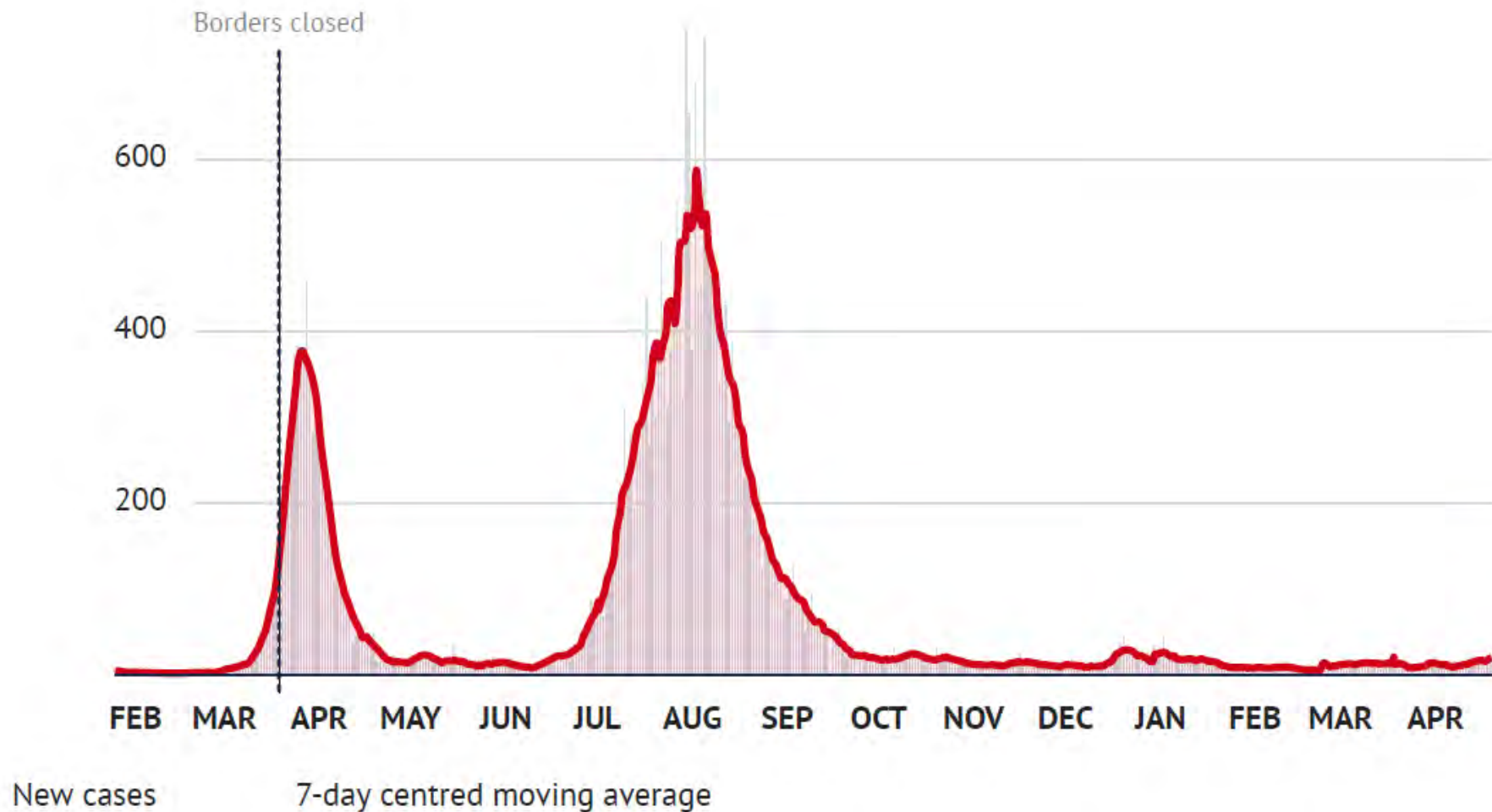
出典: ABARES, Agricultural Commodity Statistics 2020。

注. 砂糖の金額は、生産についてはサトウキビ、輸出入については粗糖・精糖のもの。果実・ナッツは、ワイン用ぶどうを除く。肉類の数量は枝肉ベース。羊毛の輸出は、半加工品を除く。牛乳、乳製品に関しては、数量はチーズについて、金額は生産が生乳、輸出入が乳製品全体についてのものであることに注意。

2 コロナ禍の拡大と対応

- オーストラリアでは、新型コロナウイルス新規感染確認者数が2020年3月に拡大。同年8月にも再び拡大。
- 対応措置として、
 - 入国制限：（市民及び永住資格者をく）
 - 入域制限：州政府が州境を越す往来を制限
 - 行動制限（ロックダウン、入店人数規制等）

2 コロナ禍の拡大と対応



出典：Sydney Morning Herald, 2021年4月19日。

3 農業への影響

ABARESによる分析(その1)

- 食料品の需要減少、価格低下が幅広く見られる。
- 特に、外出規制や国内外でのレストランの営業制限のため高級食材の販売が影響を受けた。
- 他方、感染者の発生により農業生産や加工の停止に至るような事態は少ない。
- 生産資材等の輸入も滞っていない。

3 農業への影響

ABARESによる分析(その2)

- 農産物の生産には基本的に影響はない。
- 国内流通も移動制限などによる大きな影響は受けなかった。
- オーストラリア国内の食料供給に重大な問題は生じない。
- ただし、次の2つについては、影響が大きい。
 - 1) 航空便による輸出
 - 2) 園芸農業の労働力

4 航空便による輸出：高級食材の問題

- 高級食材は航空便輸出割合が高い
水産物輸出のうち76%
乳製品を主体とするベビーフード輸出の半分
- 空路輸出農水産物に占める高級食材の割合が高い
ロブスター等の水産物 26%,
肉類26%,
ベビーフード等の加工品26%,
園芸作物9%。
- 空輸輸出の8割は、従来、旅客便の貨物スペースに。
↓
- コロナ禍により国際旅客便が大幅に減少し、著しい輸送能力不足に

4 航空便による輸出：対応

- 2020年3月に打ち出した経済刺激策の一環として、地方部とその産業に向けた支援対策「COVID-19 Relief and Recovery Fund」(以下、「ファンド」)を開始。
- 同ファンドにより2020年4月、国際貨物輸送支援方式(IFAM)を導入：高付加価値農水産物(ロブスター、高級牛肉、乳製品、果実等)の航空機による輸出について、航空貨物便の運用費用を補助。

4 航空便による輸出：対応（IFAM）

- 2020年4月1日から開始。
- 支援額：当初1.1億豪ドル その後追加され10.4億豪ドル（2021年9月28日現在）
- 期間：2022年半ばまで（2021年11月25日現在）
- 目的地：中国、日本、香港、シンガポール、UAE、韓国、タイ、ロサンゼルス 等
- 出発地：メルボルン、シドニー、ブリスベン、パース、アデレード 等

4 航空便による輸出：対応（IFAM）

- 実績：2021年5月までで67の海外輸出先に、IFAMによる支援便13,726便を運航（一部支援を含む。IFAM支援のみによる便は1割程度）
47.5万トン、68億豪ドル相当を輸送
- 2021年11月25日現在：出発便として、週1回以上飛ぶ路線が32件運行。

5 園芸農業の労働力

園芸作物種類別の生産量等（2016-17年度から2018-19年度の平均）

千トン

	オレンジ	みかん	りんご	なし	バナナ	ぶどう	じゃがいも	トマト	タマネギ	にんじん	レタス	きのこ
生産量	351	129	282	100	366	150	1,173	362	278	303	145	49.7
輸出量	176	62	5	10	—	5	—	12	34	107	2	0.2
輸入量	18	4	—	—	—	22	—	125	—	—	—	—

出典：ABARES, Agricultural Commodity Statistics 2020。

注. オレンジの輸出は、ネーブルとバレンシアのみ。ぶどうは、ワイン用を除き、輸出入は干しぶどう（重量は乾燥重量）のみ。

5 園芸農業の労働力

園芸作物種類別の生産額等（2016-17年度から2018-19年度の平均）

百万豪ドル

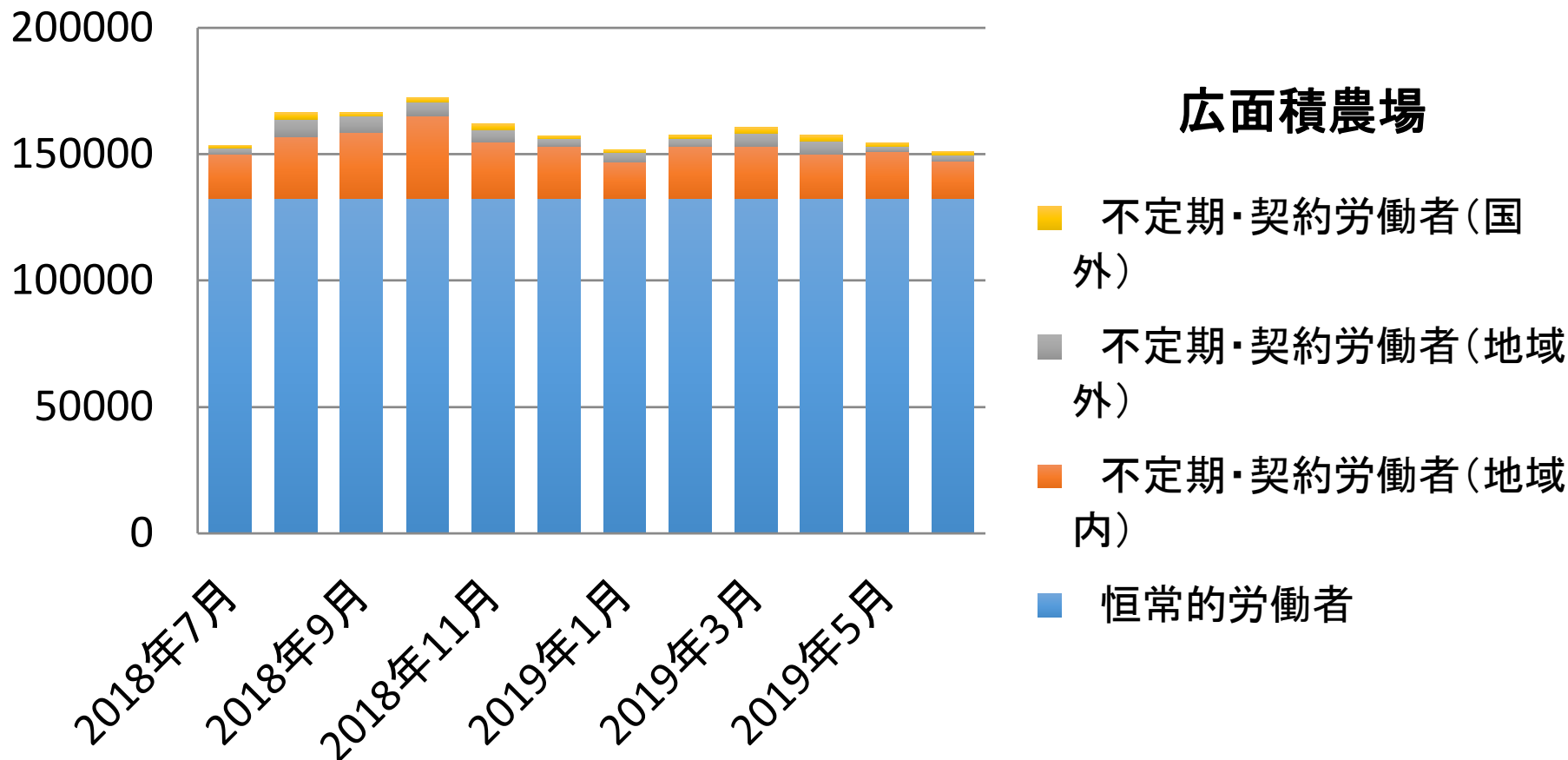
	オレンジ	みかん	りんご	なし	バナナ	ぶどう	じゃがいも	トマト	タマネギ	にんじん	レタス	きのこ
生産額	456	273	505	97	506	485	626	502	240	251	212	356
輸出額	262	134	12	16	—	21	50	20	27	94	11	8
輸入額	31	11	—	—	—	49	187	163	—	—	—	—

出典：ABARES, Agricultural Commodity Statistics 2020。

注．オレンジの輸出は、ネーブルとバレンシアのみ。ぶどうは、ワイン用を除き、輸出入は干しぶどう（重量は乾燥重量）のみ。

5 園芸農業の労働力：労働力不足

広面積農場の労働者の構成と推移(2018年7月～2019年6月)

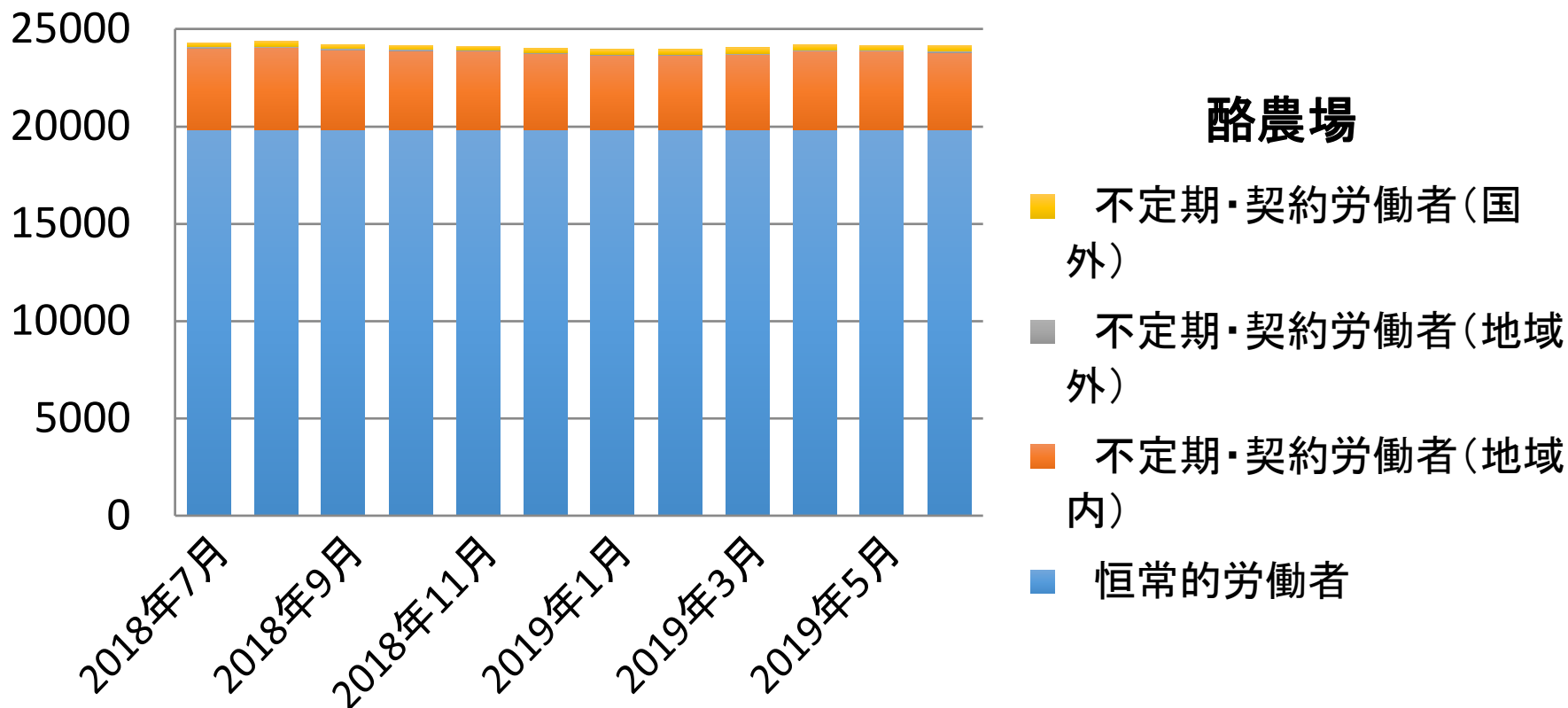


出典：ABARES, <https://www.agriculture.gov.au/abares/research-topics/labour#previous-research>.

注. 項面積農場とは、穀物農場及び放牧農場。

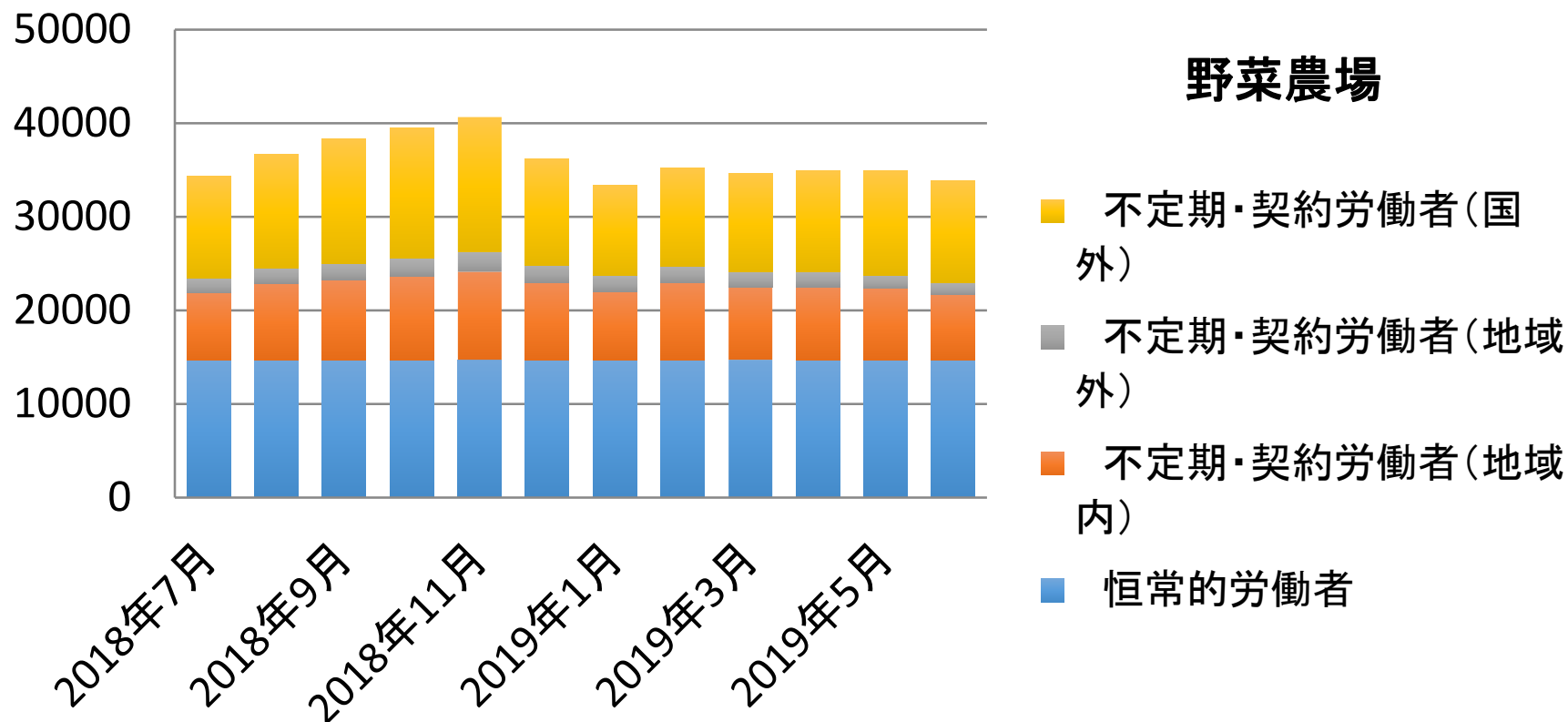
5 園芸農業の労働力：労働力不足

酪農場の労働者の構成と推移(2018年7月～2019年6月)



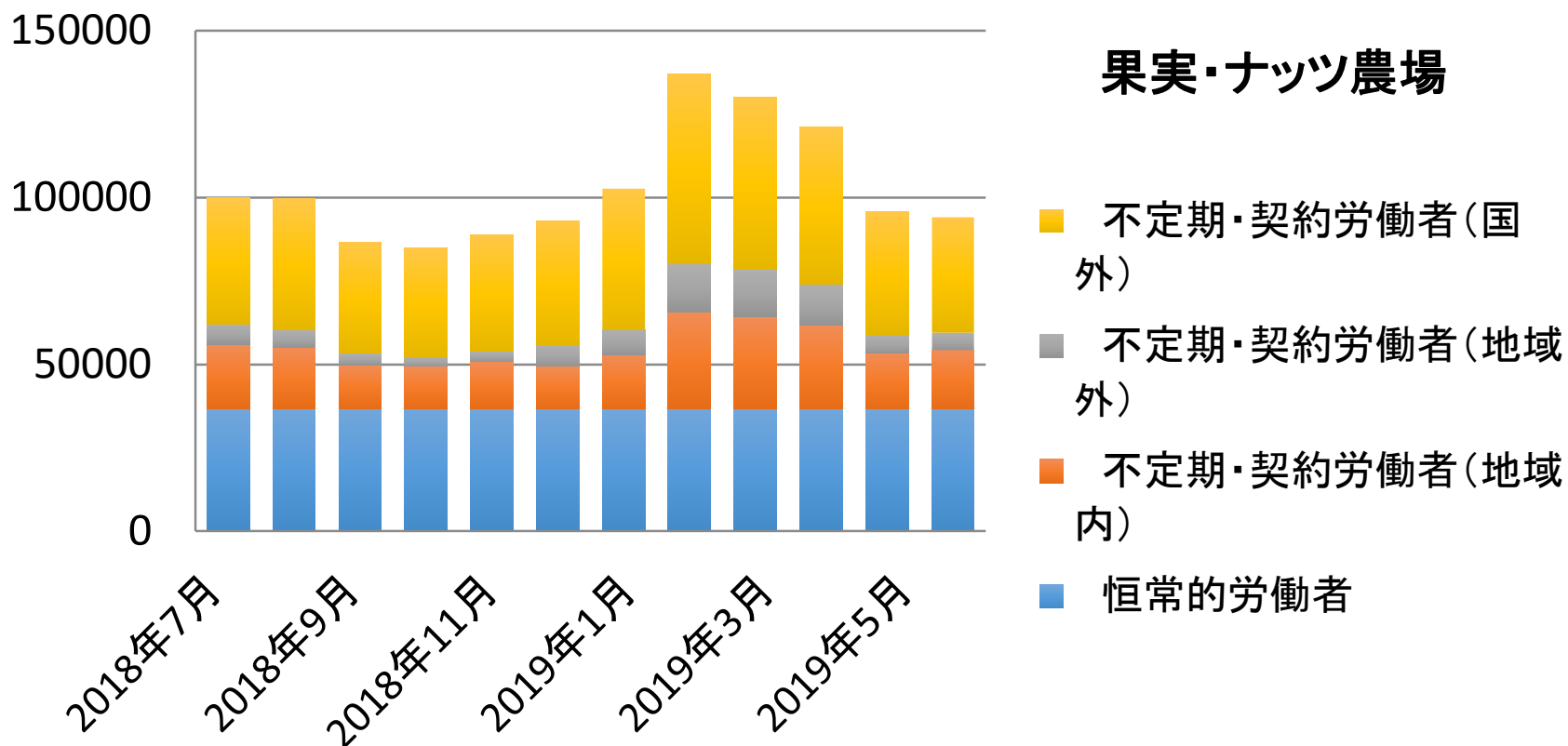
5 園芸農業の労働力：労働力不足

野菜農場の労働者の構成と推移(2018年7月～2019年6月)



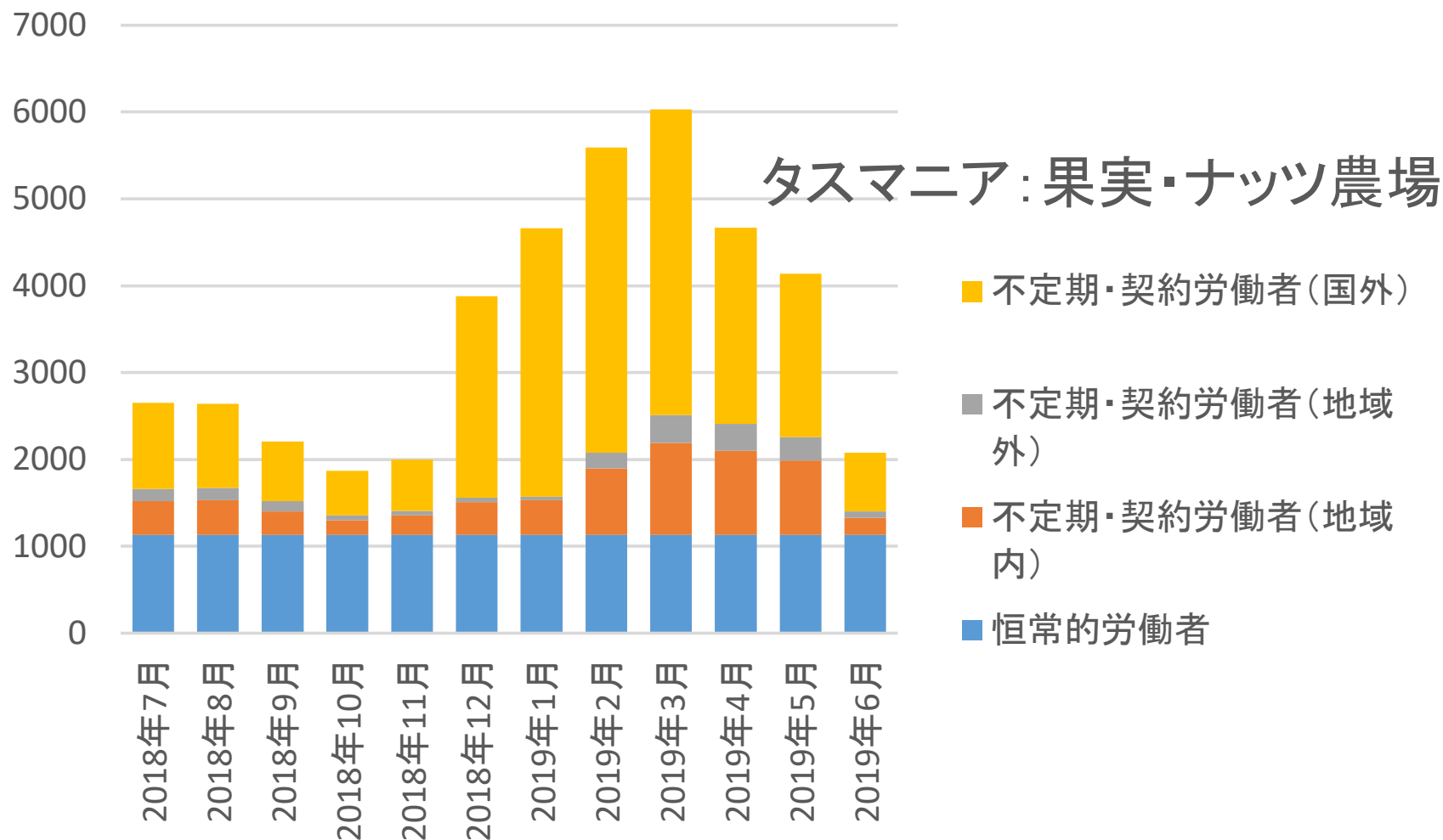
5 園芸農業の労働力：労働力不足

果実・ナッツ農場の労働者の構成と推移(2018年7月～ 2019年6月)



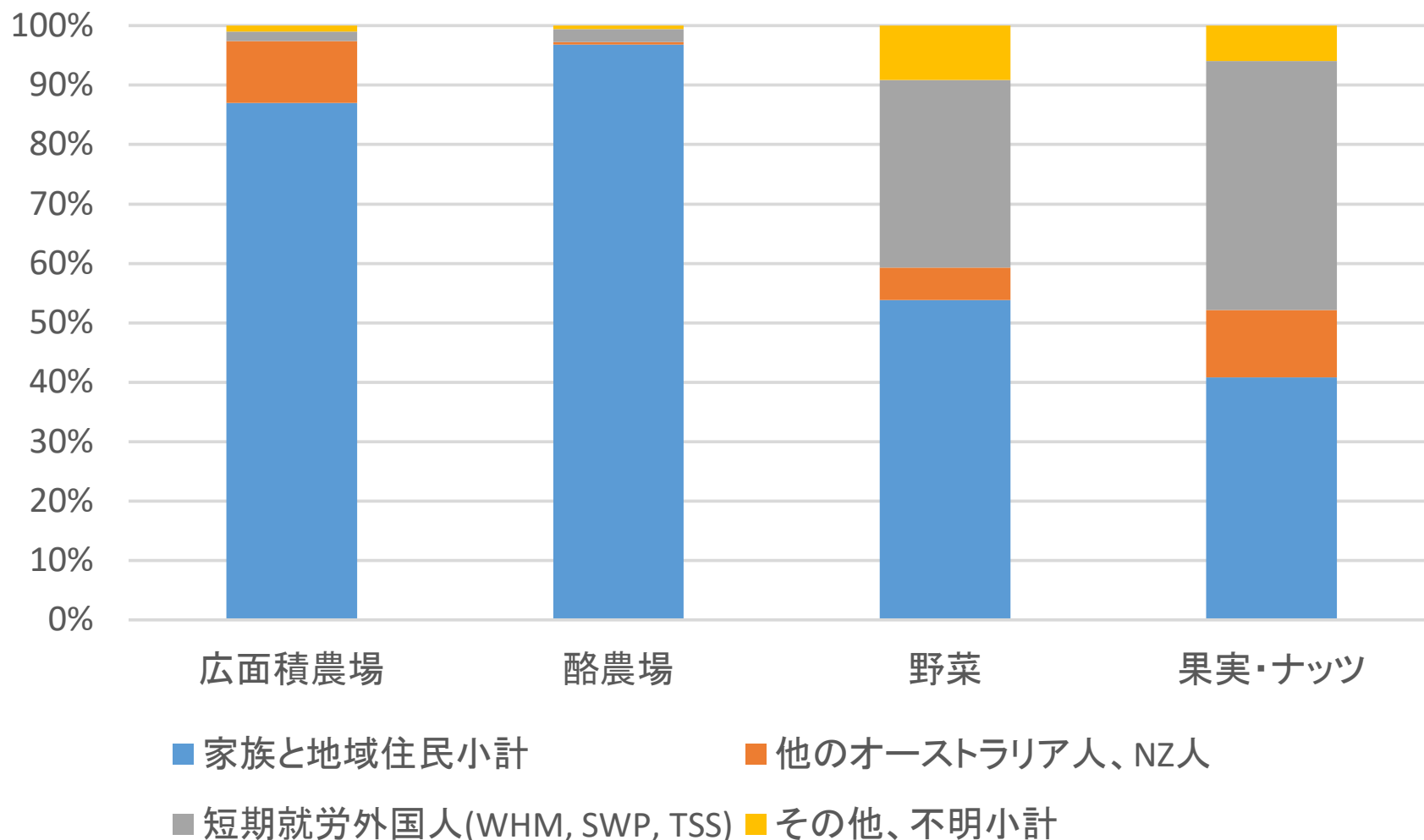
5 園芸農業の労働力：労働力不足

タスマニアの果実・ナッツ農場の労働者の構成と推移 (2018年7月～2019年6月)



5 園芸農業の労働力：労働力不足

農場類型別の内外労働力構成(2018年7月～2019年6月)

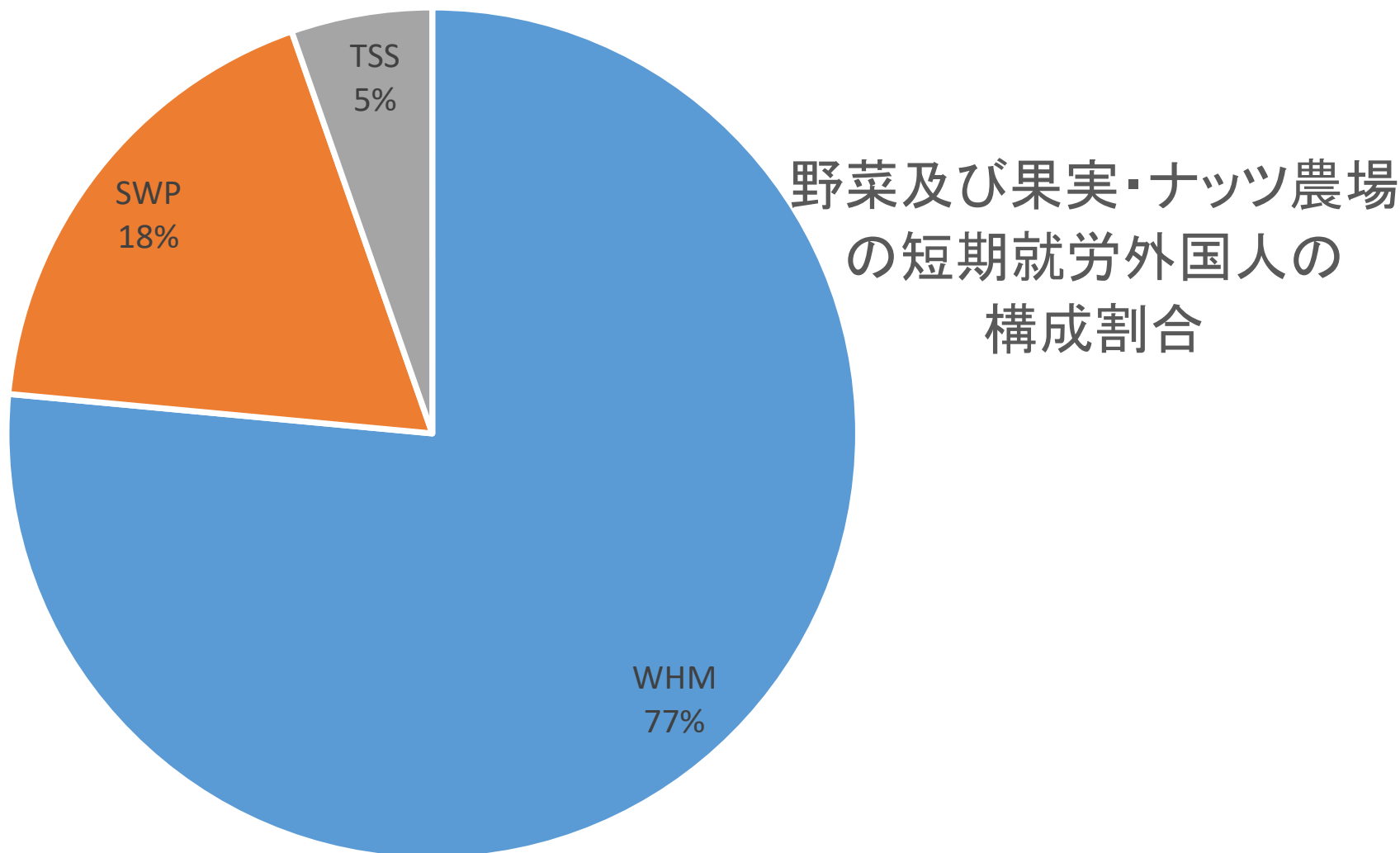


出典：ABARES, <https://www.agriculture.gov.au/abares/research-topics/labour#previous-research>。

注. 短期就労外国人は、WHM(ワーキングホリデー)、SWP(季節労働者制度)、TSS(短期技能不足ビザ)。

5 園芸農業の労働力：労働力不足

園芸農場の外国人のビザ別構成(2018年7月～2019年6月)



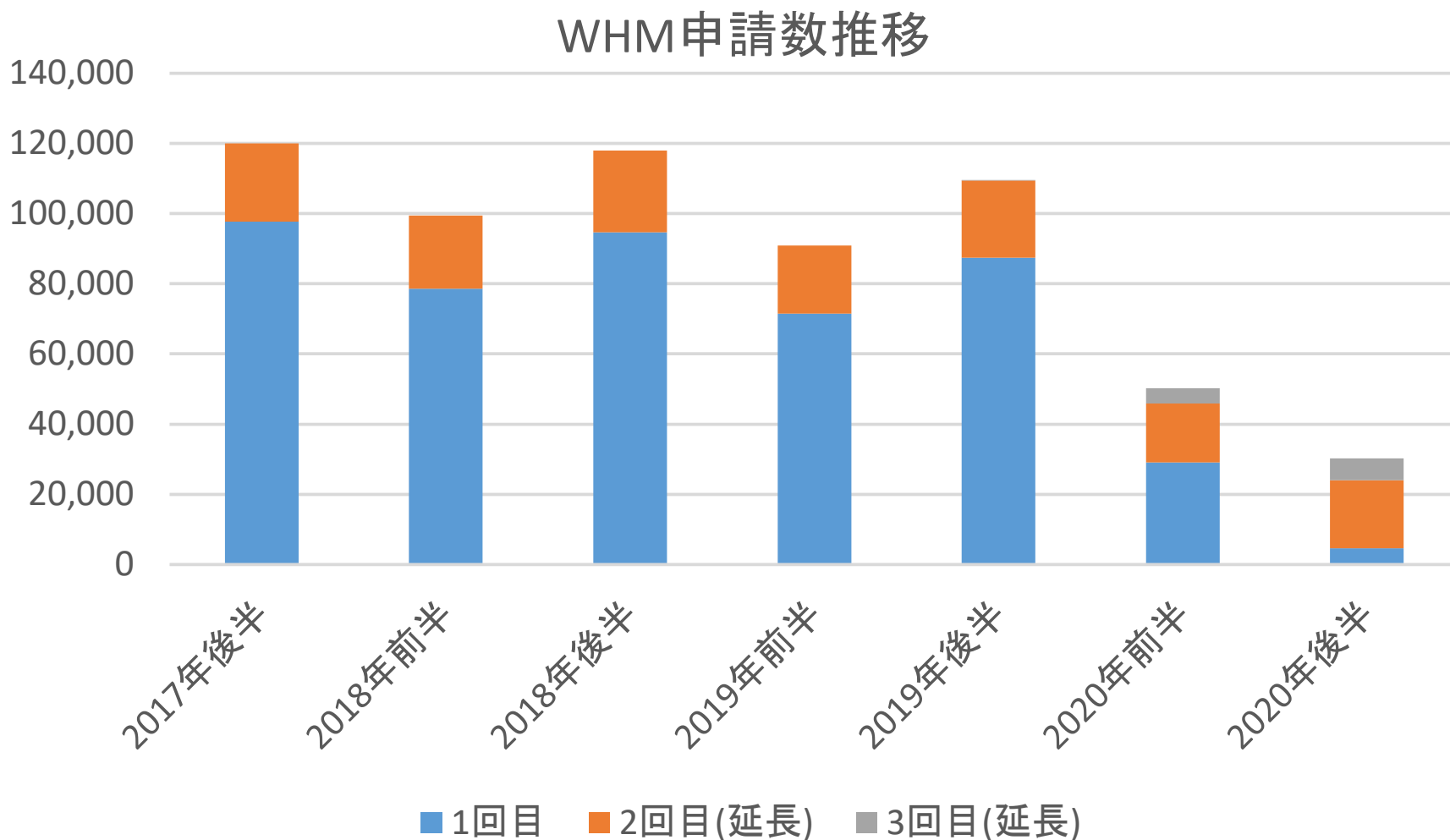
出典：ABARES, <https://www.agriculture.gov.au/abares/research-topics/labour#previous-research>。

注. 短期就労外国人は、WHM(ワーキングホリデー)、SWP(季節労働者制度)、TSS(短期技能不足ビザ)。

5 園芸農業の労働力:WHMについて

- ワーキング・ホリデー(Working Holiday Maker:WHM)
- 二国・地域間の相互理解を深める趣旨で、青少年に対し、休暇目的の入国及び滞在期間中における旅行・滞在資金を補うための付随的な就労を認める制度。
- オーストラリアは、原則として、18～30歳の青少年を対象に、滞在期間を12か月まで認める。
- 一定の条件のもとで2度目、3度目のビザ取得(延長)が可能
- 対象国・地域は44。先進国、先進的地域が多く含まれる。

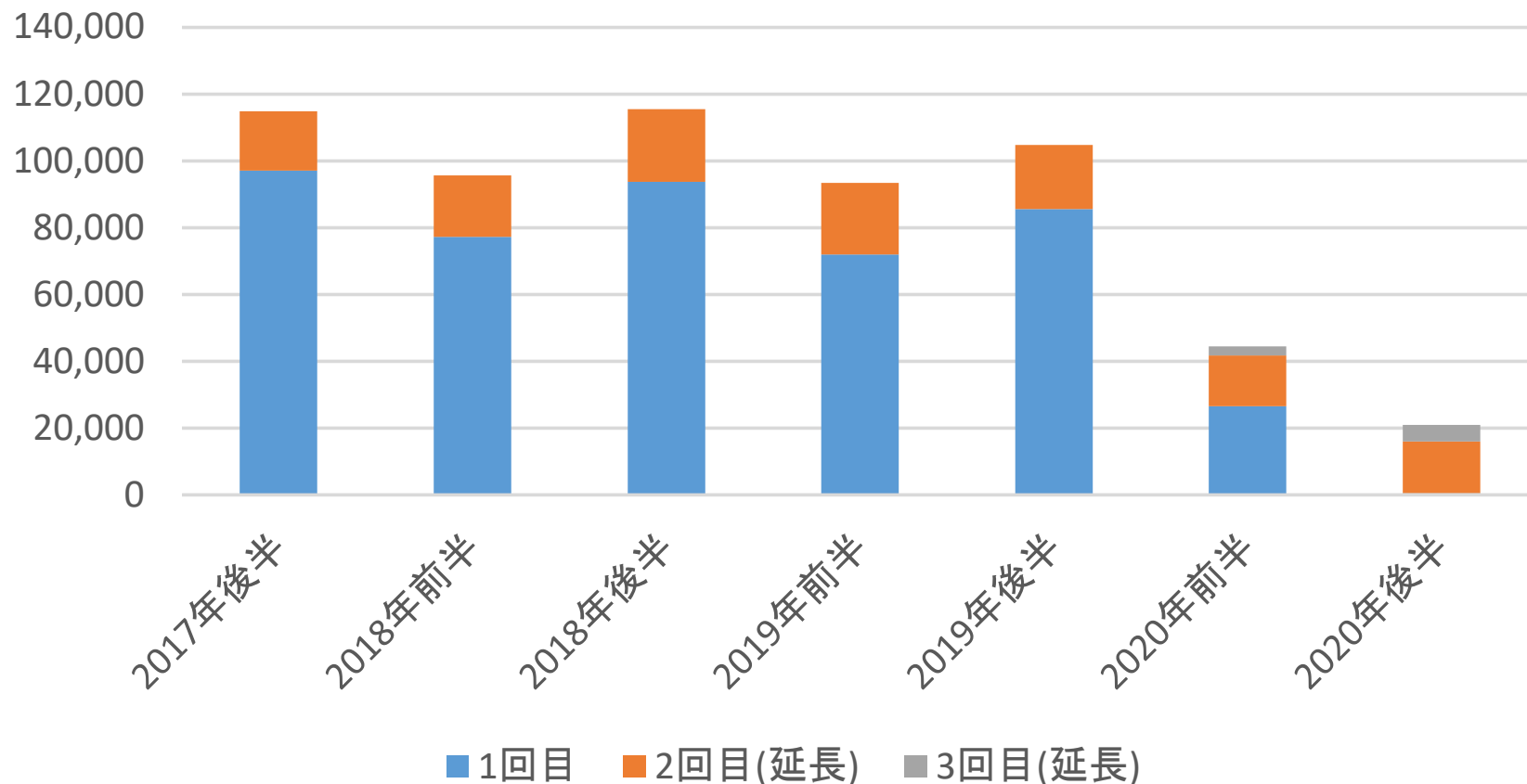
5 園芸農業の労働力: WHM



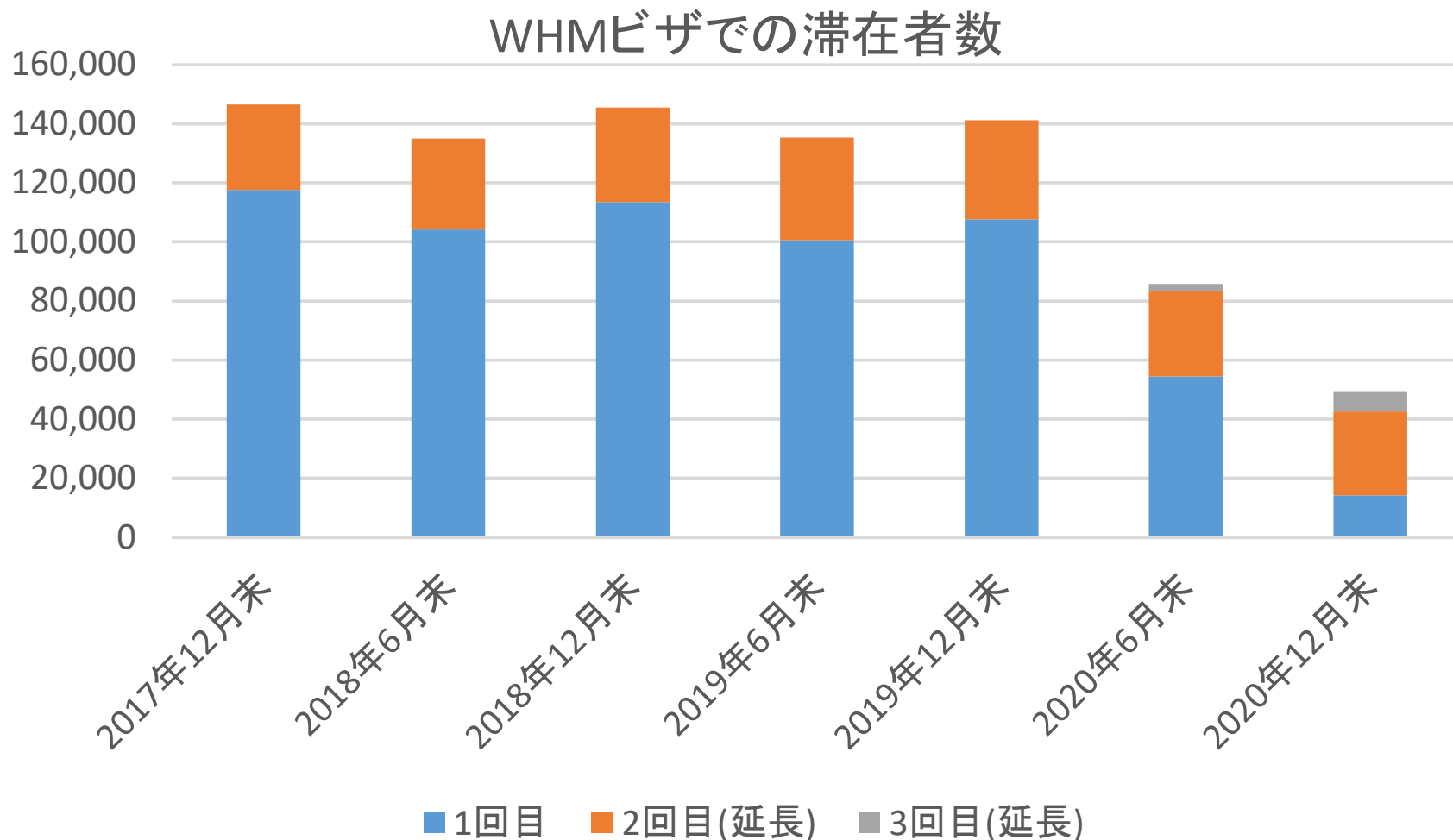
出典: 内務省、Working Holiday Maker visa program report (2020年12月)。

5 園芸農業の労働力:WHM

WHMビザ付与数推移



5 園芸農業の労働力:WHM



5 園芸農業の労働力:WHM

WHMの滞在数実績(国・地域別)

417ビザ	2019年末	2020年末
英国	23,505	8,889
台湾	13,697	5,573
フランス	15,555	4,783
アイルランド	7,649	4,278
韓国	14,142	3,522
イタリア	7,832	3,217
ドイツ	13,429	2,300
日本	8,830	2,132
カナダ	4,459	1,251
オランダ	3,026	796
香港	1,436	635
エストニア	1,148	627
ベルギー	1,527	502
スウェーデン	1,711	297
フィンランド	691	161
デンマーク	743	126
ノルウェー	259	63
マルタ	102	37
キプロス	32	13
国籍非特定	44	107
合計	119,817	39,309

462ビザ	2019年末	2020年末
中国	5,213	2,126
アルゼンチン	2,277	1,468
米国	4,178	1,293
インドネシア	1,487	1,203
チリ	2,110	1,140
スペイン	1,794	811
ベトナム	363	441
タイ	603	297
イスラエル	724	227
ペルー	299	199
ポーランド	430	158
チェコ	343	154
マレーシア	159	126
ポルトガル	269	124
ウルグアイ	228	109
シンガポール	245	95
スロバキア	148	65
トルコ	97	59
ハンガリー	138	57
オーストリア	136	34
エクアドル	10	20
スロベニア	48	12
ギリシャ	7	8
ルクセンブルク	16	7
バングラデシュ	4	0
国籍非特定	4	0
合計	21,325	10,233

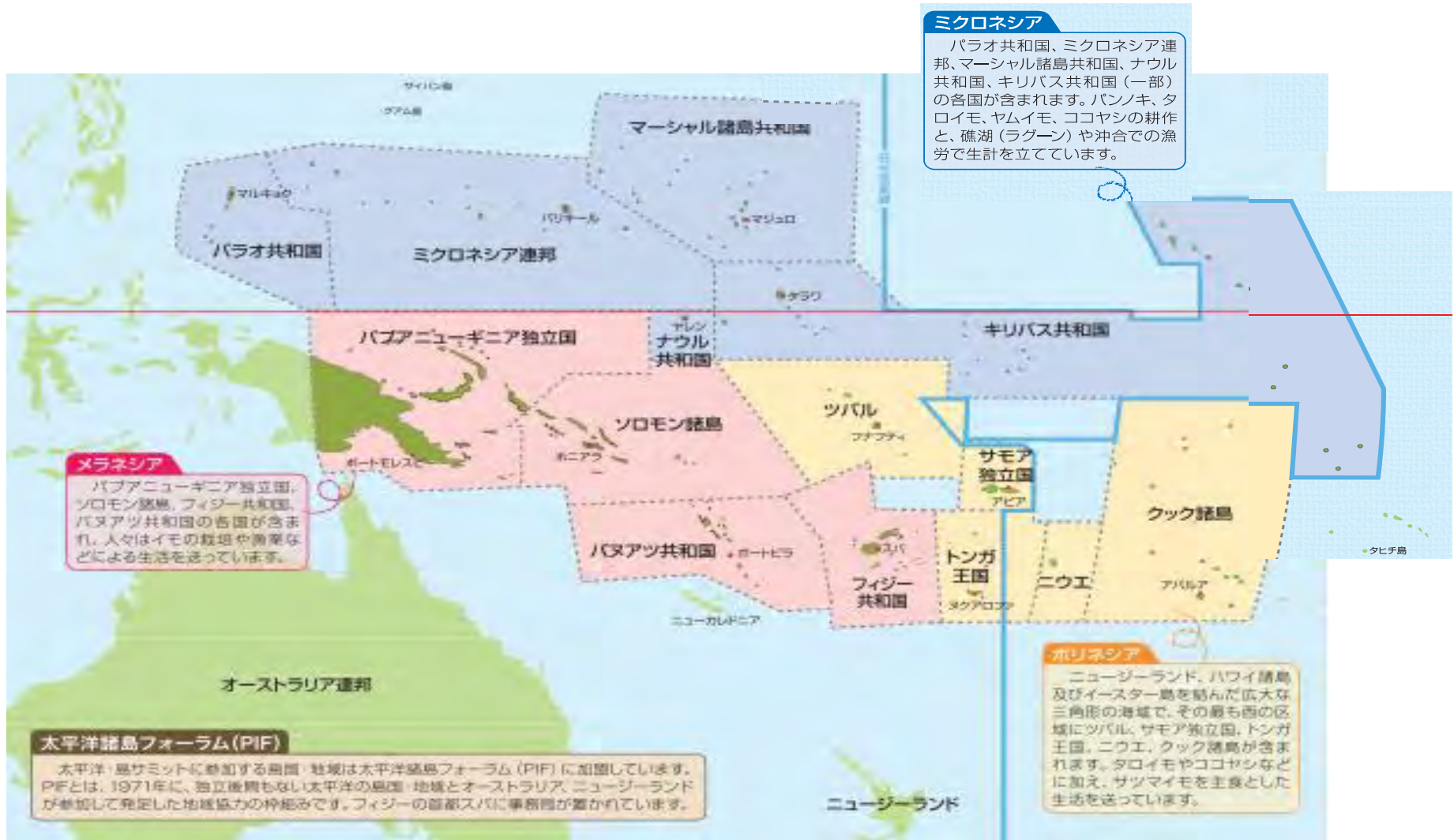
出典:内務省、Working Holiday Maker visa program report (2020年12月)。

5 園芸農業の労働力:SWP

- 季節労働者プログラム (Seasonal Worker Programme: SWP)
- WHMと異なり、就労そのものを目的
- 太平洋島嶼国等の経済発展とオーストラリア内での季節的労働力不足に対応すべく、農業部門と宿泊業・観光業の雇用労働者として、21歳以上の人々を受け入れる。
- 対象国: 太平洋島嶼国のうちフィジー、キリバツ、ナウル、パプアニューギニア、サモア、ソロモン諸島、トンガ、ツバル及びバヌアツ、並びに東ティモール(10か国)
- ビザの期間: 9か月。5か月以上の間を空ければ、再取得が可能。

5 園芸農業の労働力:SWP

太平洋島嶼国



5 園芸農業の労働力:SWP

太平洋島嶼国一覧

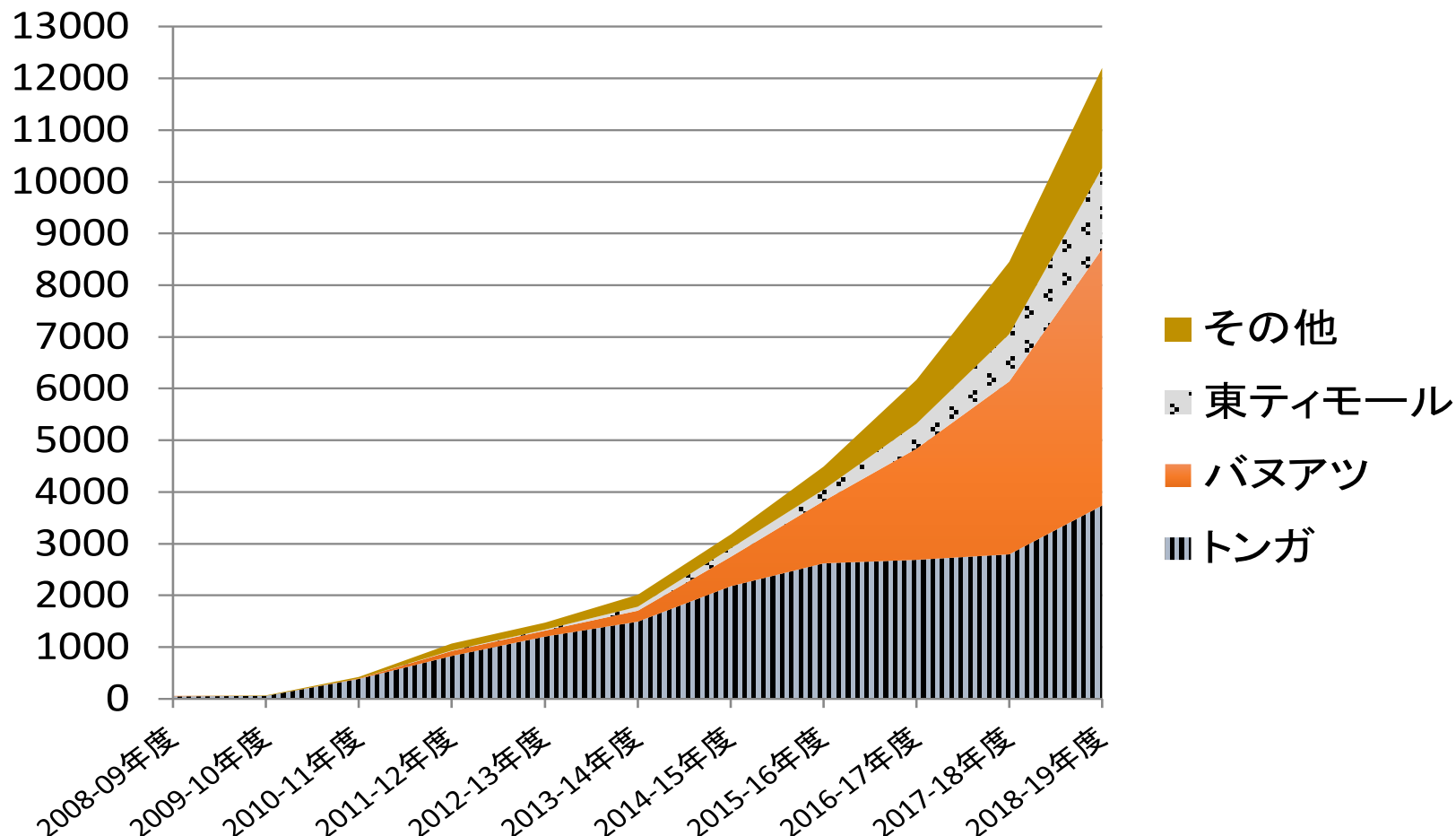
国名	面積(km ²)	人口(千人)(2019年)	農用地面積(km ²)	1人当たり農用地面積(ha)	輸出総額(2018年)(千米ドル)	対豪シェア(%)	輸入総額(2018年)(千米ドル)	対豪シェア(%)
クック諸島	237	18	15	0.08	3,125	1.55%	109,316	5.30%
ミクロネシア連邦	700	114	-	-	47,000	0.16%	198,000	2.40%
フィジー	18,270	890	4,250	0.48	1,041,040	12.91%	2,719,590	15.72%
キリバス	730	118	340	0.29	10,513	1.62%	117,408	21.82%
ナウル	21	13	4	0.03	9,000	35.01%	47,000	73.25%
ニウエ	259	2	50	2.91	2,000	0.26%	2,000	12.49%
パラオ	488	18	43	0.24	8,621	0.02%	154,413	1.22%
パプアニューギニア	462,000	8,776	11,900	0.14	4,517,686	35.88%	8,340,688	34.35%
マーシャル諸島共和国	180	59	86	0.15	41,000	3.45%	75,000	4.39%
サモア	2,830	197	757	0.38	46,101	10.78%	362,884	9.61%
ソロモン諸島	28,900	670	1,140	0.17	569,112	0.88%	601,389	18.22%
トンガ	720	104	350	0.33	18,879	8.78%	218,186	5.39%
ツバル	26	12	18	0.15	499	18.04%	25,000	7.28%
バヌアツ	12,190	300	1,870	0.62	63,532	11.30%	280,647	29.67%
計	527,551	11,289	20,823	0.19	6,378,109	27.90%	13,251,520	27.24%

出典: 外務省資料(https://www.mofa.go.jp/mofaj/area/ps_summit/palm_06/pdfs/map.pdf)から筆者作成。

注. 着色したのは、SWPの対象となっている9か国。

5 園芸農業の労働力:SWP

SWPの入国者数推移



出典: ANU, Development Policy Centre(2020年12月)「Governance of the Seasonal Worker Programme in Australia and sending countries」、ABARES (2108) What difference does labour choice make to farm productivity and profitability in the Australian horticulture industry?

注. SWPは、2012年7月から正式に再開される以前にも、試行として行われていた。

5 園芸農業の労働力：他の外国人労働力

- 一時的不足技能(Temporary Skill Shortage)ビザ：高い技能の持ち主が対象。期間は。2年ないし4年。
- 太平洋島嶼国労働制度(Pacific Labour Scheme)：季節的でない恒常的な労働力不足に対応するもの。期間は1～3年。

5 園芸農業の労働力：対応

外国人労働力の確保

- 入国済みの外国人労働者の滞在期間を延ばす対応：
 - SWPについて；2020年4月4日、農業分野で働くSWP労働者の滞在期間を本来の最長9か月から12か月に延長。
 - WHMについて；農業及び食品加工業で働く者は、同一の雇用者の下での労働期間を6か月以下としている制限を免除。また、これら業界で働き続ける者は特例でビザを更新。

5 園芸農業の労働力:対応

外国人労働力の確保

- 新たな外国人労働者を入国させることを図る対応:
 - 2020年8月4日、試行としてのSWPの実施が決定。ンゴー収穫作業の労働者162名が9月初めに北部準州(NT)に到着した。
 - 8月末、SWPを正式に再開することが決定。10月前半にバヌアツから161人がNTに、11月初めにトンガから151人がクイーンズランド州(Qld)に到着 等。
 - これら労働者には、入国後、14日間の検疫隔離期間を設定。

5 園芸農業の労働力：対応

外国人労働力の確保

- SWPの確保実績：
 - 政府は実績の詳細を公表していない。
 - 報道等によると、2020年8月の再開以後、2021年3月までに、太平洋島嶼国から3,000人を超す労働者が入国。南オーストラリア州は2021年4月から6月、1,200人の労働者を受入れ。
 - 2021年11月半ばまでに約13,000人が入国。（外務大臣プレスリリースによる）
 - 2021年8月から2022年3月までにSWP及びPLS労働者を新たに 12,500人受け入れると首相が表明。

5 園芸農業の労働力：対応

外国人労働力の確保

- WHMに関して：全国農業者連盟（NFF）や観光業者は2020年10月22日、WHMについても入国を許可するよう連邦政府に要請。
- 新型コロナウイルスの感染の少ない国から、事前の感染確認検査、入国後の隔離期間を設定の上で、最初は旅程も予め決めて実施。
- 2020年末にも開始し、徐々に拡大していく提案だったが、実現せず。

5 園芸農業の労働力：対応

国内労働力の動員

- 国内での求職者や学生を農業労働力として動員を図る対策
 - Relocation Assistance to Take Up a Job—
 - 6週間以上の農業労働等をするため転居する求職者に転居費用等を援助する措置（2020年10月に新設）。
 - オーストラリア人は一人当たり6,000豪ドルまで、労働可能なビザを保有する外国人は2,000豪ドルまで受給可能。

5 園芸農業の労働力:対応

国内労働力の動員

- 国内での求職者や学生を農業労働力として動員を図る対策
 - AgMove(2021年5月5日から同年末まで)—
 - Relocation Assistance to Take Up a Jobの「短期」版
 - 2週間で40時間の農業労働をするオーストラリア人には2,000豪ドル、一時滞在ビザ保有者には650豪ドルの移転費補助を支給。
 - 該当労働者が更に仕事を続け4週間以上の期間で120時間労働すれば、第二適格水準に達し、受給額をそれぞれ6,000豪ドル、2,000豪ドルとする。

5 園芸農業の労働力：対応

国内労働力の動員

- 国内での求職者や学生を農業労働力として動員を図る対策

—Youth Allowance及びABSTUDY—

- 若者手当（Youth Allowance。18～24歳の学生及び16～21歳で求職中の者に支給される）や先住民就学手当（ABSTUDY。先住民の学生に支給される）を一部変更
- 季節労働をする若者に有利な仕組みとする。（2020年11月1日から2021年末まで実施）

5 園芸農業の労働力：対応の効果

- 労働力不足により生産量が減少することで、
 - 価格高騰などによる国内消費者への影響、
 - 輸出向けの数量が確保できない、が考えられた。
- 実際にはどうであったか。

5 園芸農業の労働力：対応の効果

2021年3月の農業見通し

- 海外からの労働力供給減少により生産量が減少し、園芸農業産物の一部は、2020-21年度の後半に価格が上昇。
- 2020-21年度、夏野菜、核果（stone fruits。モモ、梅、サクランボ等）、仁果類（ナシ、リンゴ等）及び生食用ブドウの価格が7～29%上昇。
- 果実は、労働力供給減少の影響がより大きく、価格上昇も大。
- 果実の収穫期のピークは2、3、4月。果実の供給量減少と高価格は、2021年3、4月以降に発生。
- 価格上昇は、価格の季節変動に比べ相対的に小さい。

5 園芸農業の労働力：対応の効果

2021年3月の農業見通し

- 中期的には、海外の労働力供給が段階的に増え、生産量は上昇（回復）。
- このため、予測期間内（2025-26年度まで）の前半において価格は低下し、後半においては価格は安定し生産量は従来トレンドに復帰。
- 2020-21年度及び2021-22年度の園芸農業生産量は、海外の労働力供給が減ることによって減少。
- WHMの労働力は、2020年には64%減少して61,000人程度にとどまった。2020-21年度の収穫期である2、3、4月までのWHM数増加は想定し難い。

5 園芸農業の労働力：対応の効果

2021年3月の農業見通し

- 2021-22年度の海外の労働力は新型コロナウイルス感染拡大以前の70%程度になる。
- SWPの労働者不足問題は2021年内に解消し、2021-22年度の2、3、4月の収穫最盛期には相当数の海外労働力が追加される。
- WHMの労働力は低位にとどまる。WHMの入国制限が2022年初期に大きく緩和されても、2022年2、3、4の収穫最盛期に間に合わない。
- 2020-21年度の果実生産は17%、野菜生産は2%程度、減少。野菜は、生産者の規模が相対的に小さく家族労働を動員することで対応しやすいこと等から、果実より影響が小さい。

5 園芸農業の労働力：対応の効果

2021年3月の農業見通し

- 園芸農業産品への需要は、概して年間を通じて安定しており、消費者の需要は、価格によってあまり変化しない。
- もともと短期的な価格変動が大きく、海外労働力不足に起因して予測される価格変化(7～29%)は消費者がショックを感じるほど大きくはない。
- 生産量は減少するものの、価格が上がるため、2020-21年度の園芸農業の生産額は、直近の5年間平均よりも17%大きい。2021-22年度以後は、生産増加の一方で価格が下がり、生産額は減少。

5 園芸農業の労働力：対応の効果

2021年6月の見通し

- 野菜・果実の小売価格は、3月の予測ほど上昇せず。
- 2020-21年1～3月の四半期でみると、果実価格は1.6%下落、野菜価格は0.3%下落。
- 海外からの収穫労働力の供給減に対し、予測を超えて、労働者1人当たりの収穫量を増やすことに成功。
 - ・労働者の労働時間の延長及び雇用期間の延長。
 - ・雇用者側の休憩時間の短縮
 - ・メンテナンス作業等を先送り、その人員を収穫作業に転用。
 - ・事業の他の部門の人員を、収穫作業部門に転用。
 - ・果樹園内の集積場所を増やす等、収穫作業方式を工夫。

5 園芸農業の労働力：対応の効果

2021年6月の見通し

- 気候条件が良好で、単収が増加したことも寄与。果実密度が高いため、作業効率が向上。
- 輸出量が減少したこと(2021年2月までの12か月で、果実は7%、野菜は6%減少)が、国内消費に回す量の増加に若干寄与し、消費者価格上昇を抑制。
- 2020-21年度の園芸農業市場について新たな予測；果実価格は4%の上昇、果実生産量は4%の減少(3月時点では17%の減少と予測)。野菜に関しては、価格も生産量も特に変化しない。

5 園芸農業の労働力：対応の効果

2021年3月見通しと2021年6月の見通しの対比

2020-21年度の果実、野菜の見通し

		3月時点	6月時点
果実	生産量	－17%	－4%
	価格	＋7～29%	＋4%
野菜	生産量	－2%	±0
	価格	＋7～29%	±0

出典：ABARES, Agricultural Commodities, 3月号及び6月号

注. 9月号では、2021-22年度の野菜、果実の価格水準を2020-21年度と同程度と予測。

6 おわりに:これまでの状況

- オーストラリアは農産物の生産、流通、輸出に関して、全体としてはコロナ禍による深刻な影響を受けなかった模様。
- 高級品目の輸出、園芸農業における季節労働力に関しては問題が生じ、それぞれ政府が対策。
- 高級品目の輸出支援: IFAMが一定の成果を上げ、少なくとも2022年半ばまでの継続が確定。
- 園芸農業部門の労働力確保: SWPの労働者の入国が再開。また、当初予測されたほど生産量減少、価格低下の影響は出ず。

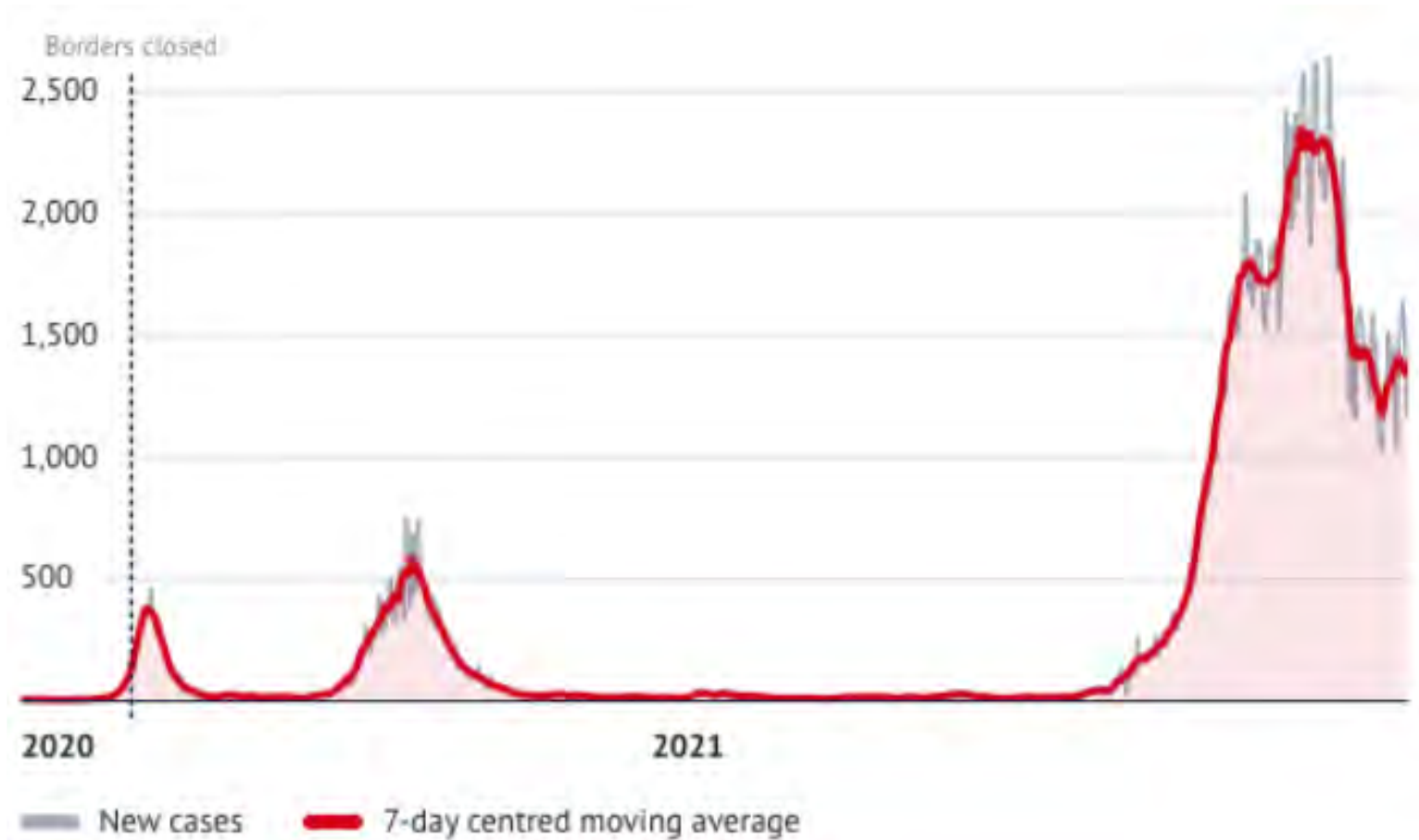
6 おわりに: 今後の課題と展望

- 園芸農業部門の労働力確保に関し;
 - 2021年前半の収穫期は限定的影響で乗り切ったが、応急措置的な対応
 - 国内労働力の動員は不調
- 農村部人口の減少等に対応しての農業労働力の確保は、コロナ禍以前からの課題

6 おわりに: 今後の課題と展望

- 連邦政府、新たな農業労働力ビザを創設(2021年9月)
 - 対象国; 二国間合意(当面、アセアンが念頭)
 - 対象業種; 農業全般(食肉加工含む)、漁業及び林業(熟練労働者から未熟練労働者まで)
 - 期間; 4年間まで
 - 実施時期; 制度は2021年9月末までに整備。運用開始は、相手国との調整次第。
 - その他; 永住権や地域定住につなげることも検討。

6 これまでの状況と今後の課題



6 これまでの状況と今後の課題

- 2021年7月から感染がこれまでにない拡大。一方、これを契機にワクチン接種が加速し、政府は段階的に規制を緩和する方針。
- 今後とも当面は、外国人労働力を中心に、従来からある労働力確保問題への対応が注目される。
 - WHMの入国が12月1日から再開（要隔離検疫）
 - 技能労働者、学生等も12月1日から再開（要隔離検疫）
 - 一部の国につき、順次、隔離検疫なし入国を再開
 - 他方11月末、新たな変異ウイルス（オミクロン株）が世界各地で確認され、国境再開見通しは不透明化

【参考文献】

2021年3月末頃までの状況を記述。今回の報告は、これらをもとにその後の状況の変化を加えて説明。

○ プロジェクト研究[主要国農業政策・貿易政策] 研究資料

『令和2年度カントリーレポート:ブラジル, アルゼンチン, パラグアイ, オーストラリア(2021年3月)』、「第4章 オーストラリアーコロナ禍下の農業の状況及び水政策改革」

https://www.maff.go.jp/primaff/kanko/project/attach/pdf/210331_R02cr07_04.pdf

